

第2回 日本大学大学院生産工学研究科 生命工学・リサーチ・センター研究発表講演会

日時 平成18年10月6日（金） 13時00分～18時10分
場所 日本大学生産工学部津田沼校舎 37号館1階101教室

文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業

『生命工学を応用した資源循環型社会の構築に関する研究』

生命・生物工学に基づく健康と疾患の研究グループ

【13:10～15:10】

Emerging and Reemerging *Clostridia* in Human Diseases

インディアナ大学医学部

（突発的出現及び再突発的出現するヒト嫌気性菌，クロストリウム族の疾患について）

教授 Stephen.D.Allen

Enhanced Hydrogen Production by Various Type of Co-cultures of Facultative

生産工学部 教授 神野英毅

Anaerobes and Photosynthetic Bacteria（通性嫌気性菌と光合成細菌の混合培養による水素生産）

Amino acid spacer を用いた C-reactive protein(CRP) 定量の高感度化と肝疾患・

生産工学部 助手 小森谷友絵

糖尿病患者における新規臨床的意義の研究

水素生産を目的とした光合成細菌培養槽内の熱伝達特性

生産工学部 教授 山崎博司

生命工学に利用可能な新規デンドリックフタロシアニンの合成

生産工学部 助教授 坂本恵一

自動走行用車椅子の開発

生産工学部 教授 勝田基嗣

資源循環型社会に則したインフラ施設における有機・無機的な要因の現象解明と改善に関する研究グループ

【15:30～16:30】

貯留性ソルパックを用いた熱環境緩和に配慮したまちづくり

東洋大学工学部 教授 石田哲朗

Multispectral Assessment for Various Chlorophyll-a Content Water Body

生産工学部 助教授 岩下圭之

中性化方法の相違によるコンクリート腐食の解明－硫黄酸化細菌の影響を考慮した－

生産工学部 専任講師 保坂成司

生命工学に基づく生活・居住環境づくりと共生に関する研究グループ

【16:50～17:50】

ヒートアイランド現象の緩和に向けた建築材料の開発に関する検討

生産工学部 P・D 円井基史

廃校となった都市部旧小学校校舎の再利用に影響をおよぼす要因

生産工学部 助教授 広田直行

－資源循環型社会に向けた公共ストック空間の活用方法について－

資源循環型社会の構築に向けた生活・居住環境づくりと共生に関する研究

生産工学部 助手 北野幸樹

－Cobb Hill Cohousing について－

【13:00～18:10】 ポスター展示

1. Microsphere を用いた Influenza B 型ウイルスの高感度診断法の研究 〈根本浩史・神野英毅〉
2. 実験的手法による屋上緑化の熱環境に関する研究 〈高橋岩仁・大木宜章・川岸梅和〉
3. 飯淵産硬質砂岩採石を用いた高強度コンクリートの品質 〈湯浅 昇・友澤史紀〉
4. 共に生きる・活きる暮らし－新潟県長岡市旧山古志村・池谷集落再建計画－
：2006 年度技術部門設計競技「自然災害で居住地が甚大な被害を受けた農山漁村集落の再建計画」
（主催：日本建築学会）佳作入選作品 〈川岸梅和・北野幸樹・杉本弘文・澤田勇太・矢島広明・小谷雅紀〉

【18:15～19:30】 懇親会 1号館3階 大会議室

【利用交通機関】 JR 津田沼駅北口より 京成バス（4 番，5 番）で 15 分
京成大久保駅より徒歩 10 分

【問合せ先】 日本大学生産工学部研究事務課
習志野市泉町1丁目2番1号

TEL 047-474-2286
Fax 047-474-2292

E-mail kenkyuka@cit.nihon-u.ac.jp
URL <http://www.cit.nihon-u.ac.jp/seimei/>